

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ ファンド<愛称：アメリカンパワー>

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第15期(決算日2021年7月26日)

作成対象期間(2020年7月23日～2021年7月26日)

第15期末(2021年7月26日)	
基準価額	47,965円
純資産総額	278百万円
第15期	
騰落率	33.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド<愛称：アメリカンパワー>」は、2021年7月26日に第15期の決算を行いました。

当ファンドは、元本の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

(旧：レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社)

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

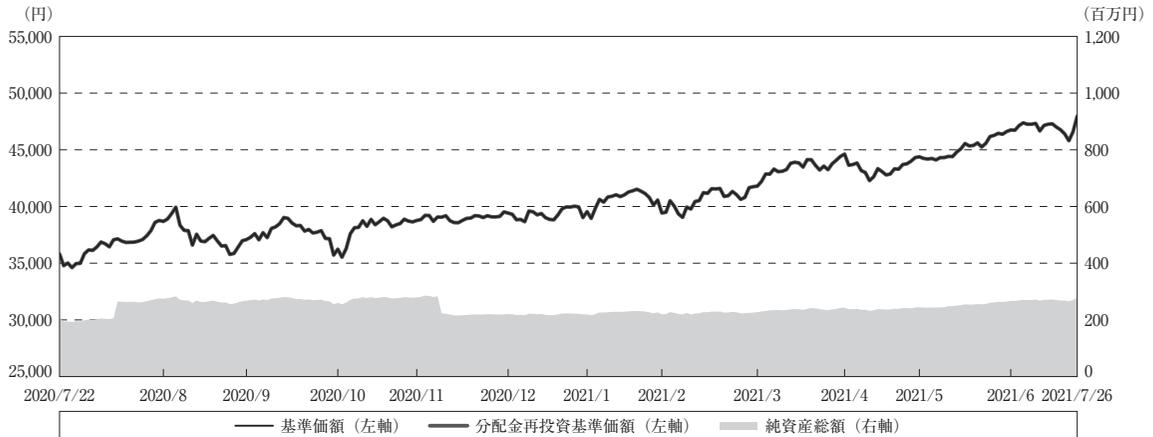
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年7月23日～2021年7月26日)



期首：35,816円

期末：47,965円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：33.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年7月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因についても、米ドル高・円安を受けてプラスとなりました。

1万口当たりの費用明細

(2020年7月23日～2021年7月26日)

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	737	1.835	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(379)	(0.945)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(335)	(0.834)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(22)	(0.056)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.007	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(3)	(0.007)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	202	0.503	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(182)	(0.452)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(5)	(0.012)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(15)	(0.038)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	配当に係る税金の支払い
合 計	942	2.346	
期中の平均基準価額は、40,140円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

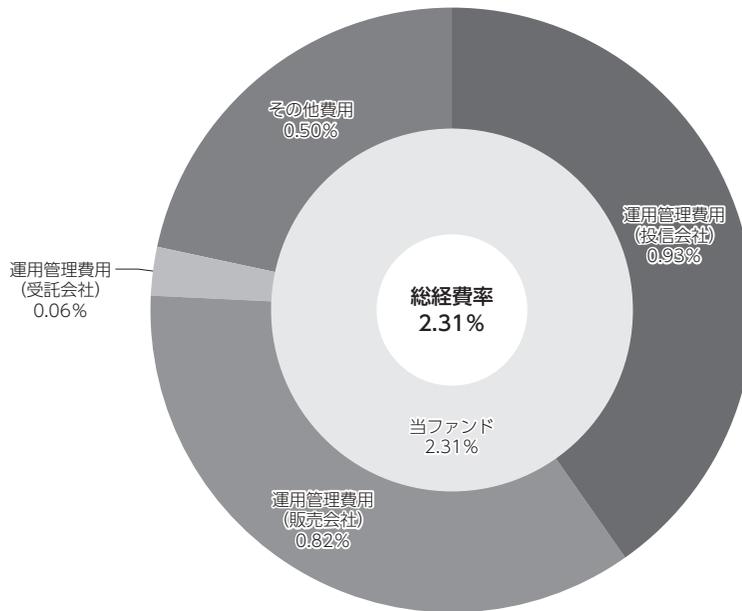
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

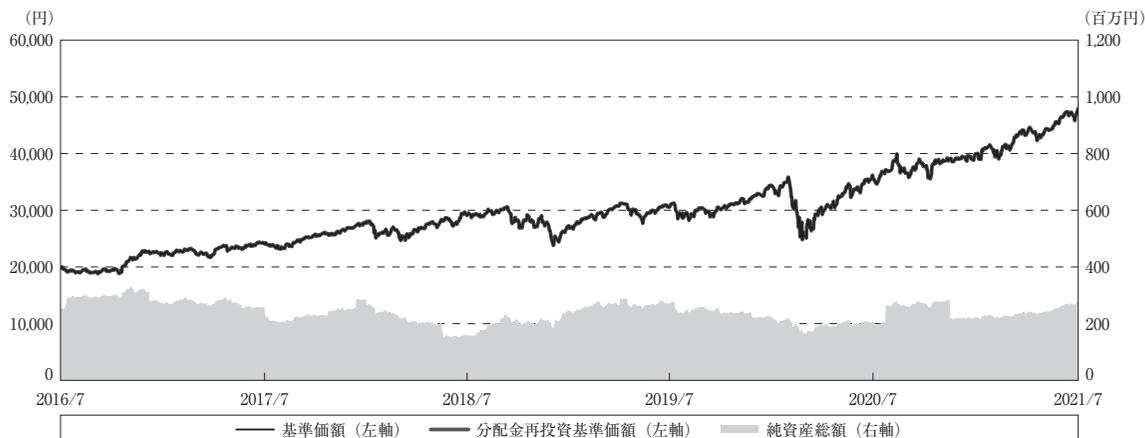
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年7月22日～2021年7月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2016年7月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年7月22日 決算日	2017年7月24日 決算日	2018年7月23日 決算日	2019年7月22日 決算日	2020年7月22日 決算日	2021年7月26日 決算日
基準価額 (円)	19,779	24,051	29,076	30,545	35,816	47,965
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	21.6	20.9	5.1	17.3	33.9
純資産総額 (百万円)	251	255	157	270	206	278

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

(2020年7月23日～2021年7月26日)

米国S&P500指数の推移

当期の米国株式相場は、上昇しました。
 期の前半は、コロナ禍での株高をけん引してきたハイテク株を中心に利益確定の売りが広がる場面も見られましたが、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）による低金利政策が長期化するとの観測が広がったことなどから、株価は上昇しました。

期の半ばは、バイデン新政権による大型の追加経済対策が実施されるとの期待が高まったことから、株価は上昇しました。その後も、ワクチン普及への期待が高まり、経済活動が正常化するとの見方が広がったことなどから、株価の上昇が続きました。

期の後半は、ワクチン接種の拡大による経済活動正常化への期待やFRBによる金融緩和の長期化観測などを背景に、株価は上昇しました。その後は、相対的な割高感が意識されたハイテク株を中心に、売り圧力が強まる場面が見られました。しかし、ワクチン接種が進み、経済活動の正常化に伴う景気の回復期待が根強い中、株価は続伸しました。



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米国金融緩和策の長期化観測が広がったことや、新型コロナウイルスの感染再拡大による米国経済活動の鈍化が懸念されたことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。

期の半ばは、FRBによる金融緩和策の長期化観測が根強い中、米国で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、目先の景気懸念が強まったことなどから、米ドルは対円で引き続き上値の重い展開となりました。しかしその後は、米国国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことから、米ドルは対円で反発しました。

期の後半は、FRBによる金融緩和策の長期化が改めて意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後は、FRBによる金融緩和策の縮小開始が早まるとの見方が浮上したことなどから、米ドルは対円で堅調となりましたが、世界で新型コロナウイルスの感染が再拡大すると、再び軟調となりました。

米ドル/円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2020年7月23日～2021年7月26日)

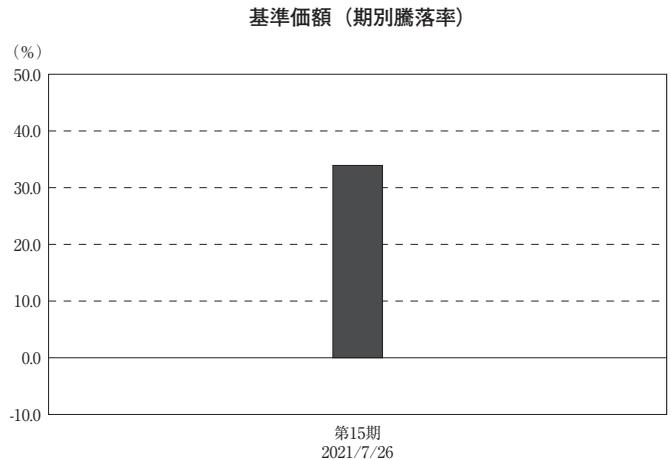
当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年7月23日～2021年7月26日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2020年7月23日～2021年7月26日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第15期
	2020年7月23日～ 2021年7月26日
当期分配金	－
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	37,965

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

<合併について>

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

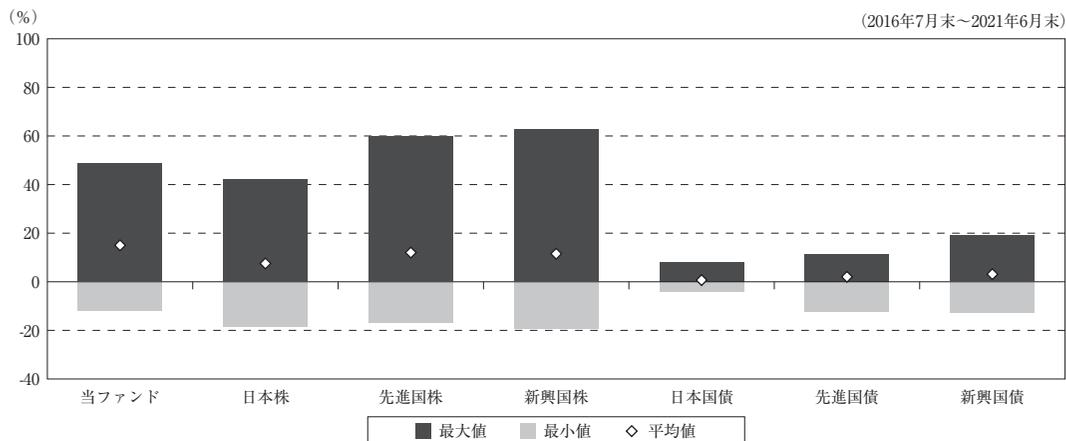
当ファンドおよび当ファンドの主要投資対象である親投資信託「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」の信託約款中の委託者名を「レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社」に変更しました。（変更日：2021年4月1日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.8	42.1	59.8	62.7	8.0	11.4	19.3
最小値	△ 11.9	△ 18.6	△ 16.9	△ 19.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 12.9
平均値	15.0	7.5	12.0	11.5	0.7	2.0	3.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年7月から2021年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年7月26日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第15期末
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	100.8%
組入銘柄数	1銘柄

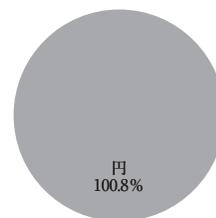
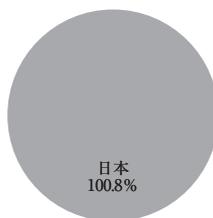
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第15期末
	2021年7月26日
純資産総額	278,129,998円
受益権総口数	57,985,936口
1万口当たり基準価額	47,965円

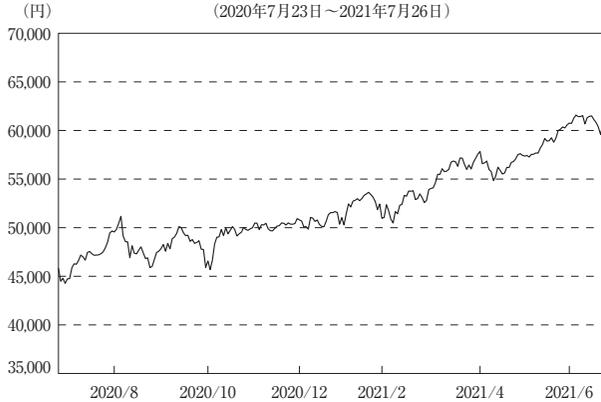
* 期中における追加設定元本額は36,933,982円、同解約元本額は36,682,290円です。

組入上位ファンドの概要

L M・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2020年7月23日～2021年7月26日)



【1万口当たりの費用明細】

(2020年7月23日～2021年7月26日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	4 (4) (0)	0.007 (0.007) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他の費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	234 (233) (0)	0.451 (0.450) (0.001)
合 計	238	0.459

期中の平均基準価額は、51,790円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2021年7月26日現在)

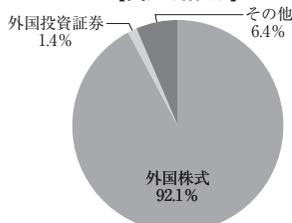
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	米ドル	アメリカ	7.4
2 FACEBOOK INC-A	コミュニケーション・サービス	米ドル	アメリカ	6.4
3 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	5.0
4 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	4.6
5 VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術	米ドル	アメリカ	4.5
6 NVIDIA CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	3.4
7 ADOBE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.4
8 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	3.0
9 SALESFORCE.COM INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.9
10 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	ヘルスケア	米ドル	アメリカ	2.5
組入銘柄数				46銘柄

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

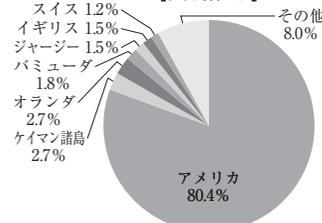
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

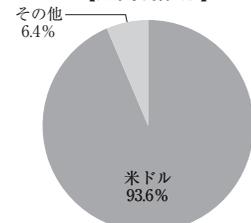
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。